

美術品の修復とそれにかかわる人材の育成支援

修復作業は作品によってかかる時間も費用もまちまちで、長いものでは数年かかるものも。クラレ財団の支援は、大原美術館の所蔵作品（比較的短期に修復できるもの）を年間4～5点修復することに役立っています。

修復は、原物を尊重することが最も大切で、作者の意図や制作当時の背景まで調べてから行われます。

修復作業には高い技術が必要ですが、日本には修復できる人材がとても少ないのが現実です。修復作業の支援を通じて人材のレベル向上に寄与することが、この活動の大きなねらいです。



©社内報クラレタイムスより一部抜粋